

給水装置分水栓穿孔工事チェックシート(提出様式)

施工日	令和 年 月 日			承認番号			
工事場所				水栓番号			
指定工事事業者名			主任技術者				
穿孔工事施工事業者名			分岐穿孔資格者等				
配水管および給水管口径			道路占用許可				
区分	チェック項目	チェック基準内容			確認	写真	
全景		建物と周りの風景および黒板等が映るように撮影した。					
準備工	土工事	掘削状況	穿孔に必要なスペースが確保されている。				—
		水替え状況	水替え工が確実にこなわれている。				—
	サドル分水栓	配水管の清掃	取付箇所および分水栓が清掃されており砂等の付着がない。				
		サドル分水栓取付	分岐部および継手等から各30cm以上の離隔が取れている。				
			垂直に取り付けられ、片締めになっていない。				
	分水栓止水コック確認	サドル分水栓のコック開閉に異常はない。				—	
穿孔機	部品、工具等	配水管の管種に適した穿孔きり(刃)、を使用している。				—	
		アタッチメントが正しく装着されている。				—	
穿孔	穿孔作業	穿孔機取付	正しく取り付けられ、確実に締め込んでいる。				—
		穿孔作業	適切な回転、刃の送りで作業が行われている。				—
		切粉排出	ドレンの排水により切り粉の排出を行なった。				
		穿孔機取り外し	分水栓の止水確認を確実にを行った。				—
		切片確認(HIVP等)	穿孔きり(刃)に切片が付いてきている。				
		コア挿入(DIP)	挿入器具あった適切なコアを装着している。				
コアが確実に挿入されており挿入機から外れている。							
穿孔後	残留塩素	残留塩素計測定	技術基準に従った測定が出来ている。(DPD試薬)				—
			測定値を記入 (mg/L)				—
			残留塩素濃度が判別できるように写真撮影を行った。				
腐食防止対策		サドル分水栓本体の防食シートの取付を行った。					

※色つきセルの施工は全景で使用した黒板が写るように撮影し提出すること。

※異常が発生した場合は局と協議し、担当者および指示を記入すること。

※配水管の管種・口径が申請書の内容(配水管布設図)と異なっている場合は必ず局に連絡すること。